

# 前回勉強会での質問の回答

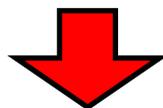
平成14年9月

# 目次

1. 河川事業の変遷(治水)
  - 1-1 近代以前の治水事業
  - 1-2 近代の治水事業
  - 1-3 紀の川水系工事実施基本計画  
(昭和40年策定及び昭和49年改訂)
  - 1-4 水防
  - 1-5 総合的な治水対策
  - 1-6 超過洪水対策
  - 1-7 淀川水系流域委員会では
  
2. 河川事業の変遷(環境)
  - 2-1 水質の改善
  - 2-2 河川の利用
  - 2-3 水辺とまちとの一体的整備の事例
  - 2-4 多自然型かわづくりの事例

# 前回勉強会での質問

- ・氾濫が無いと仮定した場合の流量確率評価
- ・川と共存をしているまちづくりの事例
- ・引き伸ばしの上限を定めずに検討しているケース
- ・計画規模の洪水が生じた場合の状況
- ・昭和49年の工実改訂により追加された主要な工事
- ・遊水地の場所



河川事業の変遷の中で説明

# 河川事業の変遷

内務省土木局設置1874

旧河川法制定1940

新河川法制定1964

河川法改正1997

一般河川改修 1874



伊勢湾台風被害状況  
(吉野町上市)

総合的な治水対策 1979

超過洪水対策 1987

東京オリンピック1964

公害対策基本法1967

水質汚濁防止法1970

河川環境整備事業 1969

多自然型川づくり 1990

河川水辺の国勢調査 1990



春の余呉側(出典:川)

# 1. 河川事業の変遷(治水)

## 1-1 近代以前の治水事業

# 最古の治水の記録(茨田堤)



古墳時代(5世紀)の淀川・大和川

出典:近畿地方の古地理を訪ねて



堤根神社(門真市大字稗島)裏に残る茨田堤



太間地区の堤防上にある茨田堤碑

出典:淀川河川公園HP

「日本書紀」や「古事記」に仁徳天皇十一年、水害から地域を守る茨田堤築造(寝屋川市太間～門真市にかけての古川沿い)の記事があります。また、堤の決壊・修復の記録は奈良時代(続日本紀)にもあります。

# 戦国時代の治水事業(信玄堤)

■釜無川位置図



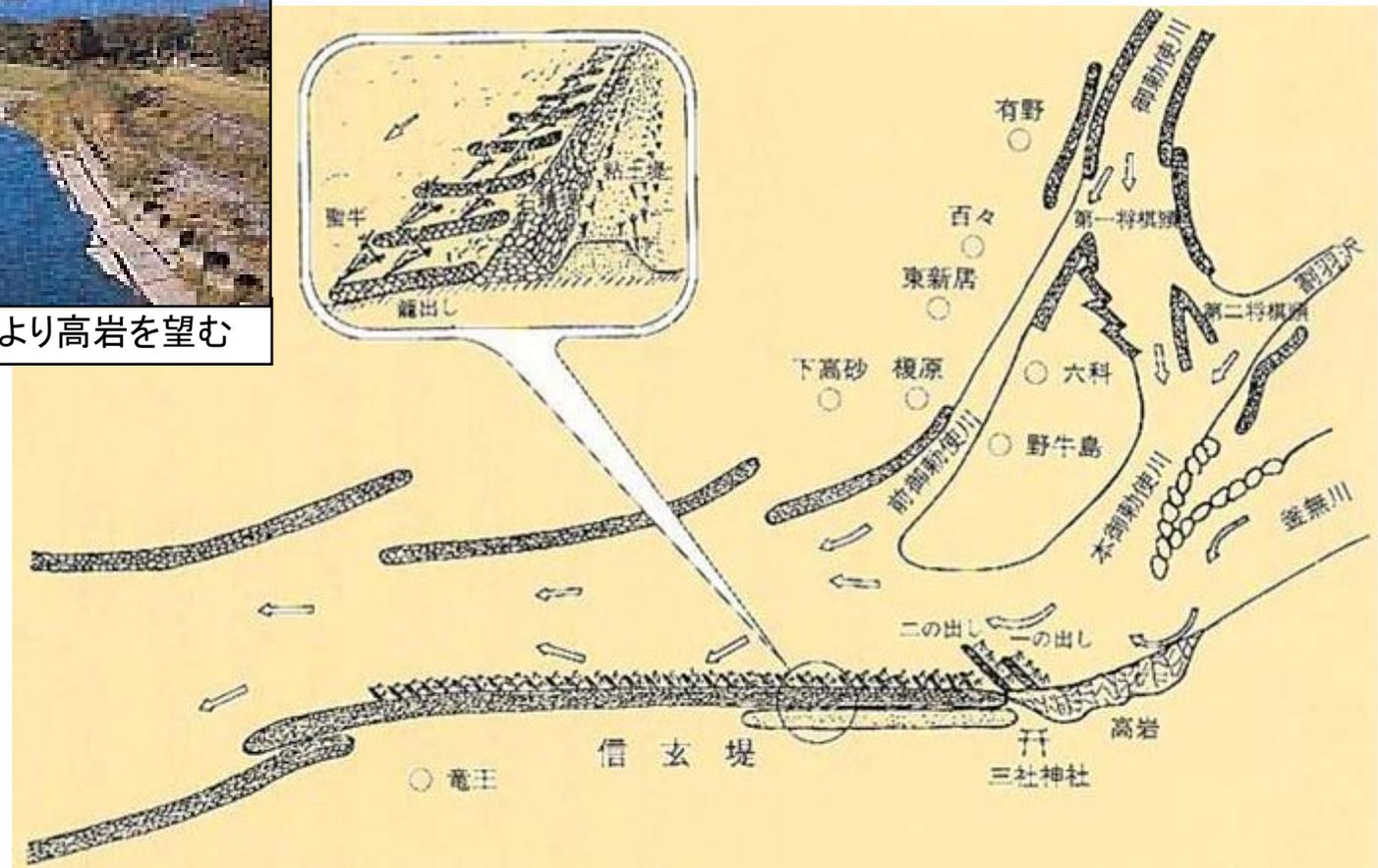
現存する信玄堤  
(出典:人と川の新世紀)

出典: 日本地図帳

# 信玄堤



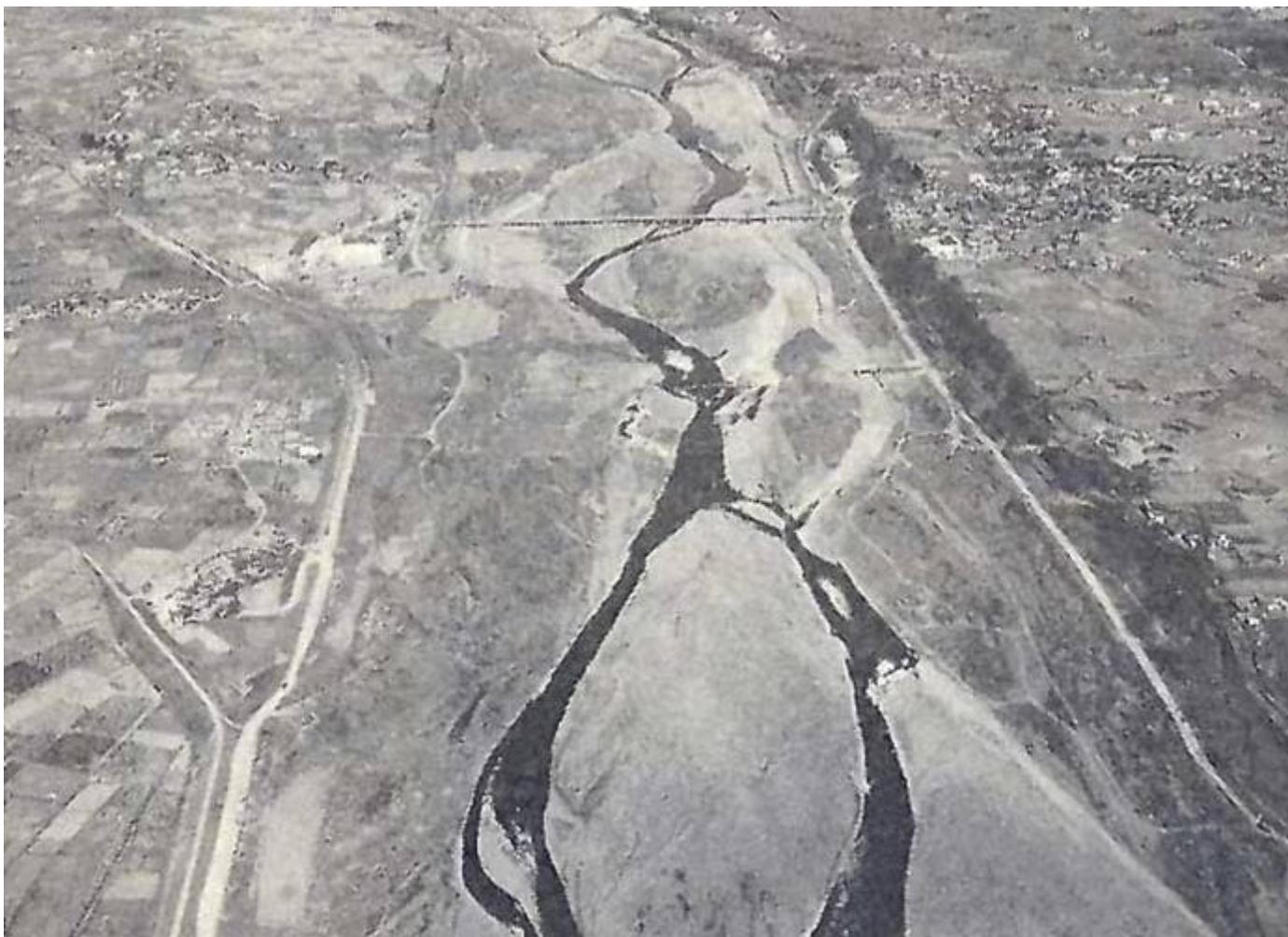
信玄堤の「出し」の先端より高岩を望む



信玄堤築造当時の想定図

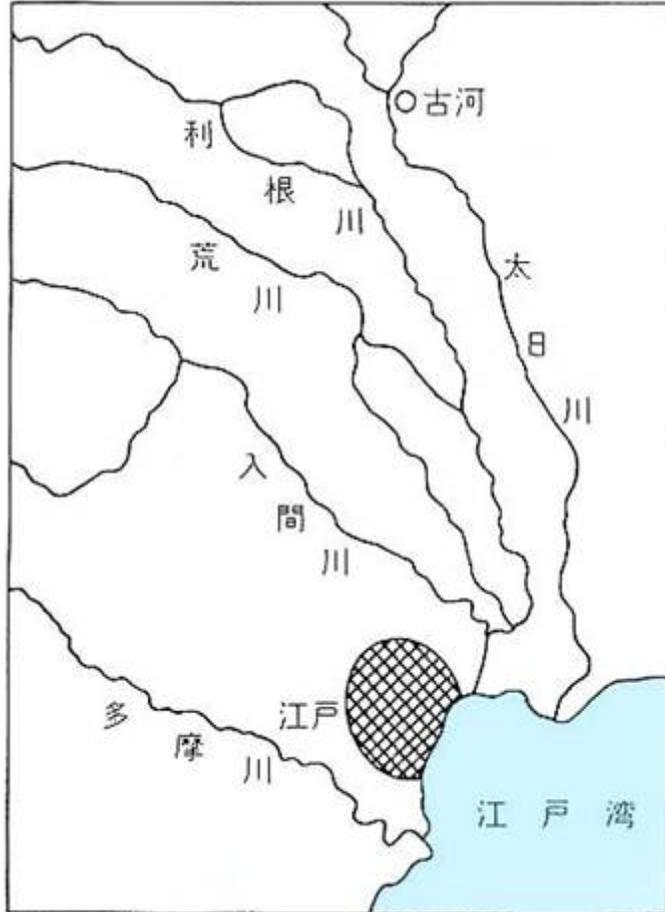
出典:川

# 信玄堤付近の全景



信玄堤付近全景（出典：ふるさと土木史）

# 利根川の東遷



近世以前江戸湾流入主要河川

出典：日本の人口増加の歴史

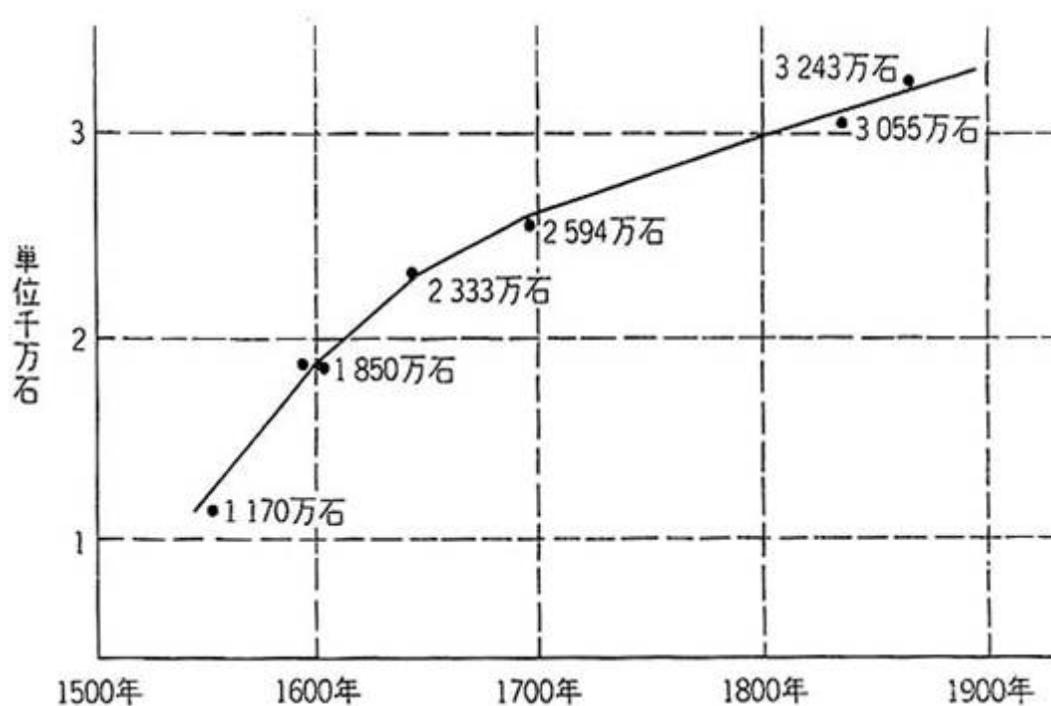


利根川の東遷

出典：人と川の新世紀

# 農地面積の変遷

西暦年	全国総石高 (万石)	備考
1553 (天文の縄)	1,170	
1598 (太閤検地)	1,850	206万町歩
1605 (慶長10年)	1,850	
1645 (正保2年)	2,333	
1697 (元禄郷帳)	2,594	
1830 (天保郷帳)	3,055	
1873 (郡村石高帳)	3,243	323.2万町歩



出典：日本の人口増加の歴史

# 安政地震の津波の記録



(注) 波高は平均海面上の概数を示す(単位:m)

出典:ふるさと土木史

# 広川町に残る防波堤



畠山氏による波除石垣、浜口梧陵による防波堤と防潮林の三段構えで築き上げられた今も広川に残る堤防

